

2024年09月17日(火)【外為Lab】松田哲

タイトル:【今日明日にFOMC】

米連邦準備理事会(FRB)は、今日明日(2024年9月17日、18日)に、米連邦公開市場委員会(FOMC)を開く。

今回のFOMCでは、約4年半ぶりに政策金利を引き下げる、と予想される。

+++++

先月(2024年8月23日)の「ジャクソンホール会議」の講演で、パウエルFRB議長は、政策金利を引き下げる時が来た、と述べた。

この講演では、利下げのタイミングとペースは今後入手するデータによる旨も述べている。

それで、今回のFOMCでの利下げは、ほぼ確実と言える。

+++++

それで、マーケット(金融市場、外国為替市場)で注目されているのは、利下げの幅が、0.25%になるのか、大幅な利下げとなる0.50%となるのか?

直近のマーケットでは、0.50%になるのではないかと、といった声が強くなっている。

+++++

しかしながら、結論から言うと、利下げの幅に関しては、事前に察知することは不可能と考えます。

FOMCのメンバーが、どのように考えるのかを当てることは、到底無理と考えるからです。

+++++

個人的には、今回(2024年9月17日、18日)のFOMCで0.25%の利下げを行い、次回(2024年11月6日、7日)に、再度、0.25%の利下げを行う可能性も、否定できない、と考えています。

+++++

+++++

直近のマーケットで、0.50%の声が強くなっているのは、今回（2024年9月17日、18日）のFOMCと次回（2024年11月6日、7日）のFOMCの間が長い、という懸念が挙げられる。

さらに、次回（2024年11月6日、7日）のFOMCの直前の11月5日に、米国大統領選挙が行われる、ということ。

米国大統領選挙の直後に政策金利を動かすことに、FOMCのメンバーは、どう考えるのだろうか、という懸念。

だったならば、今回（2024年9月17日、18日）のFOMCで、0.50%の利下げを敢行しておこう、と考えるのではないか？

そう考えると、0.50%の可能性も十分にあり得るのです。

+++++

繰り返しになりますが、今回（2024年9月17日、18日）のFOMCで、利下げは確実だが、その利下げの幅は、事前に察知することは不可能と考えます。

マーケット（金融市場、外国為替市場）は、「思惑」で動いています。

この「思惑」は、今回（2024年9月17日、18日）のFOMCの結果発表まで続くことになる、と考えます。

+++++

（2024年09月17日東京時間15：10記述）